

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」寝屋川校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パーテーションや机の位置で配慮を行っている。	
	②	職員の配置数は適切である	○		新入社員が入ること、配置数の調整を行っている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		利用者に合わせてその都度環境調整を行っている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		空気清浄機やサーキュレーターで空調に配慮し、感染予防にも取り組んでいる。	室温時計の導入を検討する。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		定期的にミーティングを行い、目標の確認と振り返りを行っている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表をもとに保護者の意向を確認し振り返りや面談等で意見をきくようにしている。	評価表を基に改善方法を検討する。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所内で評価表の周知を行い、評価・改善内容を集約し、ホームページで公開する。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現時点で行っていない。今後必要に応じて検討する。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に内部研修を行っている。	必要に応じて、外部研修にも参加できる機会を設ける。
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		定期的にアセスメントシートを利用し、モニタリング	

支援の提供				等で確認を行っている。		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		内部で決まったアセスメントツールを利用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		事業所内相談等の時間を設けて必要に応じて「家族支援」に取り組んでいる。	今後、本人の状況に合わせて必要に応じて「地域支援」に取り組む。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		児童発達支援計画に沿って、保護者と本人の状況を確認しながら、支援を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		指導員間で連携を取り、支援プログラムの立案を行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		本人の状況に合わせて、プログラムが固定化しないように指導員間で情報共有を行いプログラムの立案をしている。	必要に応じて他校舎への支援見学等を行い、プログラムを工夫していく。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個別活動を中心にしながらイベントなどを通じて小集団の活動も取り入れて児童発達支援計画を作成している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前に打ち合わせをして役割分担などを確認している。	職員全体で把握できるように共有できるツールを検討していく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員間で支援で気付いたことを振り返り共有している。	

関係機関や保護者との連携	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援記録を残し次回以降の支援プログラムの立案を行っている。	
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月ごとにモニタリング面談を行い、支援計画を見直している。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		子どもの状況に応じて、担当者会議への参加の調整を行っている。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて関係機関と連携を行い支援に反映している。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当者なし。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当者なし。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて、保育所や幼稚園への訪問や情報共有を行っている。	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて、小学校や特別支援学校との情報共有を行い連携を図っている。	
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて連携を行っている。	今後、積極的に連携を行い、研修等に参加できるように調整していく。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		現時点では交流の機会を設けられていないので、今後必要に応じて検討していく。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		感染予防の関係で参加できていないが、今後状況を見て検討していく。

保護者への説明責任等	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		振り返りの時間で支援の内容やご家庭での様子の情報共有を行い、共通理解を持つようにしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○	振り返りやモニタリング面談等で相談があった場合に、本人とのかかわり方について提案をしている。	今後、必要に応じて家族支援プログラムを検討する。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時や利用状況の確認等で説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		アセスメントに基づき契約時やモニタリング後に作成した支援計画について説明し、同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		振り返りの時間に聞き取りを行い、必要に応じて、面談や相談の時間を設けている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		ママカフェ等を実施しており、保護者同士で連携が取れる場を設けている。	今後、定期的開催できるように検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		振り返り等で本人の様子を共有した際に希望があれば、随時相談の時間を設けている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ラインやポスター、ホームページ等で行事予定や活動概要を発信している。	防災訓練等の活動概要についても発信していくようにする。
38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報はずべて鍵付きのロッカーで管理している。	今後、利用がある時間帯に職員間で情報共有をする際の声の大きさに気を付ける。	

非常時等の対応	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子供の特性に合わせて意思疎通や情報伝達をするようにしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	○		事業所内でのイベントにも地域の方が参加されている。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルの作成と訓練を行っている。	利用者への周知ができていないため、ラインやポスター等で周知していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月定期的に非常災害に備えた避難訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		定期的にアセスメントシート等で確認を行っている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		定期的にアセスメントシート等で確認を行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットの状況報告書を作成し、事業所内で共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年内部で虐待防止についての研修を行っている。	必要に応じて外部研修にも参加できるように検討する。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		事前に説明と確認を行ったうえで、個別支援計画書に記載している。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」寝屋川 校

保護者等数（児童数）：7名 回収数：7名 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	0	0	1		療育スペースは広く確保させていただいている。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	0	0	1		週6移行となり新しい職員が入社することで、配置数を調整している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	1	0	2		入口の狭さや職員室、待合の狭さが目立ちますが、可能な限り療育スペースを広く確保し、ご本人にあった構造にさせていただいている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	0	0	0		空気清浄機を2台設置し、定期的に空気の入れ替え、利用の入れ替わりの際に消毒を必ず行っている。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5	2	0	0		アセスメントと聞き取り、本人の状況を踏まえて支援計画を作成させていただいている。気になる点があれば、モニタリング面談等でいつでも相談にのる。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	1	0	0	子どもの特性を考慮されたうえで興味のある分野を通して発達を促そうとしていて、子どもに	個別支援計画書に「家族支援」や「地域支援」は明記されていないが、必要に応じて面談の機会を設け、関係機関と連

						あっていると かんじる。	携を取らせていた だいている。	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	1	0	0	基本的には支援計 画に沿って支援を させていただく が、本人の状況や 成長に応じて内容 を変更させていただ く場合がある。	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている か	7	0	0	0	職員間で情報共有 し、固定化しない ように工夫してい る。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障 害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	2	2	現時点では機会は 設けられていな い。ニーズに応じ て、今後検討させ ていただく。	
保 護 者 へ の 説 明 等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明が なされたか	7	0	0	0	契約の際に運営規 定や利用者負担等 について、ご説明 させていただいて いる。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基 づく作成された「児童発達支援計画」を示しなが ら、支援内容の説明がなされたか	7	0	0	0	モニタリング面談 と個別支援計画の 提案の際に、ご説 明させていただい ている。	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・ト レーニング等）が行われているか	3	1	2	1	毎回振り返りの 時間に家の 様子等も聞いて もらえるので助かる。	現時点ではペアレ ント・トレーニン グは実施できてい ませんが、振り返 りの際にご相談い ただき、必要に応 じて面談を設定さ せていただき、本 人とのかわりに ついて提案させて いただいている。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解ができている か	7	0	0	0	振り返りの時間で 本人の状況につい て情報共有をさせ	

							ていただいている。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	1	0	0	モニタリング面談や振り返りの時間でお話をお伺いしている。必要に応じて、面談の時間を設定させていただいている。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	3	1	1	現時点では年1回程度でママカフェを開催している。今後定期的に開催できるよう検討していく。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6	1	0	0	振り返りの時間等でお伺いし、必要に応じて面談の機会を設け対応させていただいている。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	1	0	0	個々の状況や特性に応じてお話の際に配慮させていただいている。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	2	0	1	ラインやポスター掲示、お知らせの配布等で情報を発信している。保護者の状況に合わせて他の発信方法も検討していく。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5	2	0	0	個人情報には鍵付きのロッカーで保管している。教室の構造上他の人の会話が聞こえることがありますので、臨機応変に対処させていただく。
非常時等	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4	1	0	2	現時点ではマニュアルや実施した訓練の周知ができていない。今後、掲示等でお知らせし

の 対 応							ていけるよう検討する。	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	2	0	4	通っている範囲で避難訓練等がされているかはわからない。	上記通り、お知らせができていないので、今後ブログや掲示等でお知らせできるよう検討する。
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	7	0	0	0	毎回楽しみに通っている。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	6	1	0	0	まだ数か月なので、これから期待している。 子供の個性にあった療育を受けられて満足している。	保護者交流会や個別面談、集団療育も実施しているので、必要に応じてご利用していただく。職員間で共有し、支援や振り返りの工夫をしていく。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。